

日本福祉大学社会福祉総合研修センター主催
2022年度 第2号研修「不特定多数の者対象」
第1回 介護職員等によるたん吸引等研修事業 募集要項

■はじめに

本センターが主催する対面研修では、新型コロナウイルス感染症予防対策として、研修前の受講生ご自身の体調チェック、マスク着用や消毒等の衛生対策、換気の徹底等をお願いしております。感染拡大防止にご協力をお願いいたします。また、講義形態を変更する可能性もありますことを、予めご了承ください。

■研修概要

1. 研修の目的

平成24年4月の「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正により、介護福祉士及び一定の研修を受けた介護職員等においては、医療や看護との連携による安全確保が図られているなど、一定の条件の下にたんの吸引等の行為を実施できるようになりました。

本研修は、**不特定多数の方**に対して、**たんの吸引**（①口腔内・②鼻腔内・③気管カニューレ内部）及び**経管栄養**（④胃ろう又は腸ろう・⑤経鼻）を行うための研修です。

（愛知県地域福祉課ホームページ『1. 喀痰吸引等研修事業の概要について』より一部抜粋）

2. 主催・登録研修機関

日本福祉大学社会福祉総合研修センター（〒460-0012 名古屋市中区千代田 5-22-35）

3. 業務規程【別添】

申込をいただく前に一読いただき、内容をご了承いただいた後、お申込みご準備いただきますようお願いいたします。

■募集内容

1. 受講資格

以下の要件を満たす方に限ります

- 1) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、グループホーム、有料老人ホーム、障害者（児）施設等、居宅サービス事業所等に勤務の介護職員等（介護福祉士を含む）の方
- 2) たん吸引等を必要とする利用者がある等で、業務上本研修受講が必要な方
- 3) 介護職員等で所定のカリキュラムをすべて受講できる方

2. 募集定員

60名（基本研修及び実地研修 30名、実地研修の 30名）

※本研修のうち、基本研修において申込みが10名に満たない場合は、開催を取りやめる可能性がありますので、予めご了承ください

3. 募集期間

2022年3月14日（月）～2022年4月1日（金）**必着**

4. 開催日程 ※新型コロナウイルス感染症拡大等の状況によって変更する可能性があります

2022年5月19日（木）～2023年2月10日（金）

実地研修のみ受講者 2022年6月1日（水）～2023年2月10日（金）

※詳しくは別紙1「日程表」をご参照

5. 受講料（すべて税込）

【自身で実地研修先を手配する】

受講タイプ	基本研修費 (講義・演習・試験)	実地研修費 (事務手数料)	合計 (税込)
① 基本研修+実地研修	67,000 円	20,000 円	87,000 円
② 実地研修のみ	なし	20,000 円	20,000 円

※保険料、資料送付代はすべて受講料に含まれます

※テキスト代は別途かかります（基本研修受講希望で講義テキストを購入する方のみ）

「新版 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト／中央法規刊（2,420 円 税込）」
 （2021 年 9 月発行の新版を使用します）

【研修センターにて仲介にて実地研修を希望】

* 社会状況により実施できない可能性がございます。お申込み前に、事務局までお問い合わせください。

受講タイプ	基本研修費 (講義・演習)	事務管理費	実地研修費	合計 (税込)
③ 基本研修+実地研修	67,000 円	45,000 円	※必要行為が増えるごとに 20,000 円加算	132,000 円 ※1 行為の場合
④ 実地研修のみ	なし	45,000 円	※必要行為が増えるごとに 20,000 円加算	65,000 円 ※1 行為の場合
⑤ 実地研修のみ	なし	45,000 円 +手技確認費 10,000 円	※必要行為が増えるごとに 30,000 円加算	85,000 円 ※1 行為の場合

※保険料、資料送付代はすべて受講料に含まれます

※テキスト代は別途かかります（基本研修受講希望で講義テキストを購入する方のみ）

「新版 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト／中央法規刊（2,420 円 税込）」
 （2021 年 9 月発行の新版を使用します）

※③④は、必要行為が 1 行為追加するごとに実地研修費 20,000 円が別途加算されます

※⑤は、必要行為が 1 行為追加するごとに、実地研修費 30,000 円が別途加算されます

※⑤は実地研修実施前に別途、手技確認（別途 10,000 円必要）を行います

注 意 事 項

- 1 本研修は先着順受付ではありません。各申込書類を確認し、研修受講に適格と認められた方のみ受講可といたします。
- 2 本研修のうち、基本研修において申込みが10名に満たない場合は、開催を取りやめる可能性がありますので、予めご了承ください。
- 3 定員設定にかかわらず、実地研修の受け入れ条件等やあるいは研修受講の優先性・必要性等について勘案の上、受講決定をさせていただきますので、予めご了承ください。
- 4 以下①～⑤の方は、研修の**一部履修免除対象**となりますので、①～③、⑤の方は「修了証明書」「履修証明書」の写しを、④の方は、「喀痰吸引等研修一部履修証明書」の写しを、⑥の方は「修了証明書」又は「認定特定行為従事者認定証」の写しを申込時に必ず提出してください。
 - ①「特別養護老人ホームにおけるたんの吸引等の取扱いについて」（平成22年4月1日医政発0401第17号厚生労働省医政局長通知）に基づくたんの吸引等を適切に行うために必要な知識及び技術に関する研修を修了した方。（いわゆる「経過措置」の方）
 - ②平成22年度に厚生労働省から委託を受けて実施された「介護職員によるたんの吸引等の試行事業（不特定多数の者対象）」の研修（平成22年度老人保健健康増進等事業「介護職員によるたんの吸引等の試行事業の研修のあり方に関する調査研究事業」）を修了した方。
 - ③「平成23年度介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修事業の実施について」（平成23年度10月6日老発1006第1号厚生労働省老健局長通知）に基づく研修を修了した方。
 - ④平成24年度以降に「たん吸引等研修 第1号・第2号研修（不特定多数の者対象）」を受講するも、やむを得ず途中修了となり、「一部履修証明書」をお持ちの方。
 - ⑤介護福祉士養成機関で「医療的ケア」の講義・演習を履修した方。
 - ⑥不特定の者対象で一部の行為に対して修了した方。もしくは、認定特定行為従事者認定証を取得した方。

※第3号研修（特定の者対象）修了者には免除はありませんので、ご注意ください。
- 5 受講可否通知は2022年4月12日頃に、申込者全員に順次発送しますので、それ以前のお電話等による可否のお問い合わせは御遠慮ください。万一通知が届かない場合は2022年4月15日以降、本センターまでご連絡ください。
- 6 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修期間を延長する場合があります。講義（オンライン形式）受講の際は受講生もしくは施設が、ひとり1台のPCまたはタブレット（カメラ・マイク利用可能なもの）を確保する必要があります。
- 7 自身で実地研修先を確保される場合でも、「本センター主催の研修において、実地研修を依頼する」という位置づけから、本学とその実地研修先の間で、委託契約を締結させていただきますので予めご承知おきください。（別添「**介護職員等の喀痰吸引等研修にかかわる実習委託契約書**」参照）
- 8 本研修修了者には本センターより「**喀痰吸引等修了証明書**」をお渡ししますが、証明書の送付については、実地研修実施報告書の提出から1ヶ月程度時間を要することがありますので、予めご了承ください。
- 9 本研修修了者が、実際にたん吸引の行為をおこなうためには、修了証明書受領後、各自、住民票のある都道府県に「認定特定行為業務従事者認定証」の交付を申請する必要があります。また、その場合は事業者も別途、都道府県に「登録特定行為事業者」としての登録申請が必要ですのでご承知おきください。

別紙 1

1. 基本研修（オンラインまたは日本福祉大学名古屋キャンパスで実施）

1) 講義（計 50 時間 + 筆記試験）

講義形式	日程	時間	科目	時間数	計	
オンライン	第 1 日目 2022 年 5 月 19 日(木)	9:30~9:45	開講オリエンテーション		7.5	
		9:45~18:00 (昼休憩 45 分)	第 1 部 総論			
			第 1 章 人間と社会			
			①介護職と医療的ケア	0.5		
			②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1		
			第 2 章 保健医療制度とチーム医療			
			①保健医療に関する制度	1		
			②医療的行為に関係する法律	0.5		
			③チーム医療と介護職との連携	0.5		
			第 3 章 安全な療養生活			
①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	2					
②救急蘇生法	2					
オンライン	第 2 日目 2022 年 5 月 26 日(木)	9:30~16:00 (昼休憩 1 時間)	第 4 章 清潔保持と感染予防		5.5	
			①感染予防	0.5		
			②職員の感染予防	0.5		
			③療養環境の清潔, 消毒法	0.5		
			④滅菌と消毒	1		
			第 5 章 健康状態の把握			
			①身体・精神の健康	1		
			②健康状態を知る項目 (バイタルサインなど)	1.5		
③急変状態について	0.5					
オンライン	第 3 日目 2022 年 6 月 2 日(木)	9:30~17:30 (昼休憩 1 時間)	第 II 部 高齢者および障害児・者の喀痰吸引		7	
			第 1 章 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」概論			
			①呼吸のしくみとはたらき	1.5		
			②いつもと違う呼吸状態	1		
			③喀痰吸引とは	1		
			④人工呼吸器と吸引	2		
			⑤子どもの吸引について	1		
⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応, 説明と同意	0.5					
オンライン	第 4 日目 2022 年 6 月 9 日(木)	9:30~18:30 (昼休憩 1 時間)	⑦呼吸器系の感染と予防 (吸引に関連して)	1	8	
			⑧喀痰吸引により生じる危険, 事後の安全確認	1		
			⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	2		
			第 2 章 高齢者および障害児・者の「喀痰吸引」実施手順解説			
			①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ, 清潔の保持	1		
			②吸引の技術と留意点	3		

オンライン	第5日目 2022年 6月16日(木)	9:30~17:00 (昼休憩1時間)	②吸引の技術と留意点	2	6.5
			③喀痰吸引にともなうケア	1	
			④報告および記録	1	
			第III部 高齢者および障害児・者の経管栄養		
			第1章 高齢者および障害児・者の「経管栄養」概論		
			①消化器系のしくみとはたらき	1.5	
オンライン	第6日目 2022年 6月23日(木)	9:30~18:00 (昼休憩1時間)	②消化・呼吸とよくある消化器の症状	1	7.5
			③経管栄養法とは	1	
			④注入する内容に関する知識	1	
			⑤経管栄養実施上の留意点	1	
			⑥子どもの経管栄養	1	
			⑦経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応, 説明と同意	0.5	
			⑧経管栄養に関係する感染と予防	1	
			⑨経管栄養により生じる危険, 注入後の安全確認	1	
オンライン	第7日目 2022年 6月30日(木)	9:30~18:30 (昼休憩1時間)	第2章 高齢者および障害児・者の「経管栄養」実施手順解説		8
			①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ, 清潔の保持	1	
			②経管栄養の技術と留意点	5	
			③経管栄養にともなうケア	1	
			④報告および記録	1	
対面	第8日目 2022年 7月7日(木)	10:00~11:00	筆記試験	1	
		11:30~12:30	結果発表・実地研修オリエンテーション	1	

※講義日予備日・筆記試験再試日 2022年7月8日(金)

2) シミュレータ演習

演習形式	日程	時間	演習科目
対面	2022年7月15日(金) ~ 2022年7月29日(金) ※上記のうち、土日を除く 日程のいずれかの2日	各日9時30分~終了まで	『たん吸引』 『経管栄養』 + 『救急蘇生法』

※基本研修にご準備いただくもの (下記をご承知おきのうえ、お申し込みください)

講義：1人1台のPCまたはタブレット (スマートフォンはご遠慮ください)

演習：フェイスシールド

2. 実地研修（各自所定の施設にて演習）

期間 2022年8月8日（月）～2023年2月10日（金）

※実地研修のみ受講の方 2022年6月1日（水）～2023年2月10日（金）

※実地研修のみ受講される方は、実地研修オリエンテーションにご参加ください

3. 研修修了日 2023年2月10日（金）